

『〈モータウン〉のデザイン』(名古屋大学出版会)刊行記念

—— 丸善ゼミナール ——

クルマの、 クルマによる、 クルマのための 環境デザイン

7月30日(月) 19:00~20:00

丸善名古屋本店 (1階イベントスペース)

参加無料 要予約 (定員 30名)

1階サービスカウンターまたは電話 052-238-0320 まで

若者のクルマ離れが話題となる一方で、地方都市では市街地が駐車場で蚕食された景色をよく目にするようになりました。考えてみれば、クルマをめぐって生み出された建築・都市は、我々が20世紀に創り出した環境そのものであり、それらは「クルマの、クルマによる、クルマのためのマチ」すなわち〈モータウン〉と呼ばれます。

今回のマルゼミでは、『〈モータウン〉のデザイン』を著された堀田典裕さんに話題提供をいただきますとともに、現代美術作家の丹羽誠次郎さんにお越しいただき、クルマという〈モノ〉とそれらが生み出す〈場所〉のデザインについて対談していただきます。

堀田 典裕 (ほった・よしひろ)：1967年三重県生まれ。名古屋大学大学院工学研究科助教。専門は建築・環境デザイン。著書に『山林都市』(彰国社)、『吉田初三郎の鳥瞰図を読む』(河出書房新社)など。

丹羽誠次郎 (にわ・せいじろう)：1967年愛知県生まれ。愛知学泉大学家政学部教授。専門は現代美術、グラフィックデザイン。『眼差しのゆくえ - 現代美術のポジション 1997』(名古屋市美術館)はじめ展覧会多数。



工場・住宅から高速道路やモールまで、現代の車社会における環境デザインの可能性を問い直す力作
堀田典裕『〈モータウン〉のデザイン』好評発売中!